

## 平成29年度 第1回タウンミーティング（湯川・松原） 意見及び市回答

日 時 平成29年7月27日（木） 午後7時～午後8時10分

場 所 市役所8階 大会議室

	意見	市回答及び対応
1	<p>伊東駅前の具体的整備について</p> <p>伊東駅周辺整備事業について、具体的な考えがありましたら教えてください。</p>	<p>平成18年に全体面積約2.6ヘクタールの駅前街区の地元地権者などからなる「伊東駅前地区まちづくり協議会」において、「伊東駅前地区まちづくり構想」が策定されています。しかし、それから既に10年が経過していることから、新たにインバウンド需要、津波等の自然災害の対応など、現在の社会情勢を踏まえた方針をまとめることを考えています。</p> <p>経済的には大変厳しい地方都市において、デベロッパーが参画する再開発事業をいかに推進していくかが大きな課題でもあり、今後専門家の知見を得るほか、様々な角度から事業展開の方法を検討してまいります。</p> <p>まず着手できるところから、具体的には、伊東駅構外のトイレ改修についての要望が多いため、JR東日本と共同し改修を進めてまいります。</p>
2	<p>津波避難ビルの建設について</p> <p>県作成の津波避難シミュレーションにおいて、海岸部に近い町内に多くの避難困窮者が出ることが判明し、近隣の指定避難ビルでは対応しきれない可能性があります。ついては、藤の広場付近に避難ビルを兼ねたアリーナ、音楽ホールのような施設の建設を希望します。</p>	<p>昨年度「伊東市津波避難計画」を策定する際に行った津波避難シミュレーションによると、松原地区では最大約30人（全て高齢者等の要配慮者）の津波による被災者が出るとの結果が出ました。</p> <p>松原地区では要配慮者が被災までに移動できる距離は最悪のケースで250m程度とされるため、藤の広場に津波避難施設が建設されれば、一定の効果は見込められると思われま。今後、藤の広場の再利用を考える上で、津波避難施設としての機能は欠かせないものとして考えるべきであると思えます。</p>
3	<p>避難困窮者、特に高齢者の情報開示について</p> <p>いざという時に中心になっていただくため、せめて民生委員には避難困窮者の情報を提供してください。</p>	<p>災害時における避難困窮者の情報提供につきましては、関係法が改正され、避難困窮者本人の同意を得ることにより、平常時に地域に対して名簿提供が初めて可能となったことから、「一人では避難が困難で、家族等に支援者がいない方」という要件の確認と絞り込みを行い、該当者の同意を得た後、「避難行動要支援者名簿」を作成し、関係団体への提供も視野に進めております。</p>
4	<p>新松原ホテルの解体状況について</p>	<p>所有者から、解体費用や解体後に生じる参道への安全性などを踏まえ工事を検討して</p>

平成29年度 第1回タウンミーティング（湯川・松原） 意見及び市回答

	意見	市回答及び対応
	周辺地域に解体計画や解体範囲の周知をお願いします。もし建物を全部解体しない場合には、建物内への不法侵入を防止し、安全を確保するようお願いします。	いくつの報告を受けており、市としては引き続き所有者に解体工事をお願いしてまいります。
5	松原温泉会館の案内表示の設置について 松原浴場は駅や海岸に近いので、観光客等多くの利用があります。135号バイパスや伊東駅方面から来る観光客等にわかりやすい案内表示の設置をお願いします。	案内表示については、国道及び県道は道路管理者である県が、矢羽などの表示物を極力立てない方針のため、PR方法については今後検討してまいります。
6	消防会館の建て替えについて 湯川、松原の消防会館は老朽化しており建て替え等の対策が必要です。分団消防会館、詰所は市の直結した仕事をしている分団の建物のため、市が建設し、維持管理費の負担をするようお願いします。	本市では、各区における分団詰所の新築、改築及び修繕の際には、建設費の一部を補助している経過もあるため、引き続き各区の協力をお願いします。今後は区の負担を減らせるような方法について検討してまいります。
7	松原温泉会館の利活用について 高齢化が進む中で、今後更なるお年寄りケアに加え、病気を予防する取組をお願いします。クーラー等設備を充実させて、お年寄りが安心してゆっくりお風呂に入れるよう支援していただきたいと思います。	財産区が所有する財産・施設の維持修理費は財産区の負担とされていることから、市として対応することは難しいと考えております。
8	伊東駅周辺整備事業について 当該事業について長年協力してきましたが、一向に進展しませんでした。今後この事業実施の有無を明確にし、実施する場合にはしっかりと計画を立て進めていただきたいと思います。	伊東駅の玄関口である伊東駅周辺に賑わいと活力をもたらすためには、伊東駅周辺整備事業は欠かせません。今後専門家の知見を得るほか、様々な角度から事業展開の方法を検討してまいります。
9	伊東駅の改札について 古い伊東が好きなので、伊東駅の改札を昔のような改札にして欲しいと思います。	貴重なご意見として参考にさせていただきます。

平成29年度 第1回タウンミーティング（湯川・松原） 意見及び市回答

	意見	市回答及び対応
10	<p>花のある美しいまちづくりについて</p> <p>街中に美しい花をたくさん植えるなどして、観光客が増えるような対策をできることからどんどん進めていただきたいと思います。</p>	<p>「花と海といで湯の街伊東」をPRすべく、伊東駅前ロータリーや国道135号バイパス沿いなど市内の観光花壇については、業者委託により季節の花を植えるなど維持管理に努めております。</p> <p>また、市制施行70周年を契機として、リエティ広場や川口公園一帯にブーゲンビリアの植栽を行いました。</p> <p>今後につきましても伊東駅前や湯の花通り、キネマ通りなどの商店街には鉢植えのブーゲンビリアを設置するなど、伊東駅から川口公園までをブーゲンビリアを中心とした、花のある美しいまちづくりを進めてまいります。</p>
11	<p>伊東駅前の安全対策について</p> <p>伊東駅前交番のすぐ前、歩行者の多い場所に自動車が乗り入れており非常に危険ですので、対応をお願いします。</p>	<p>JRの敷地ということで現状の利用がされていますが、今後、駅前広場整備の検討を行う中で、より安全・安心な駅前広場となるよう整備を進めたいと考えております。</p>
12	<p>婚活等支援について</p> <p>結婚や出産を望む男女が希望をかなえられるよう、婚活等の支援に取り組んではどうでしょうか。</p>	<p>出会いの場の創設等、婚活については、現在のところ市が直接実施することは考えておりませんが、まずは子育て世代への支援を手厚く行い保護者の負担を軽減し、安心して子育てできる環境を整えてまいります。</p>
13	<p>観光振興について</p> <p>温泉地としての伊東を維持するため、観光により一層力を入れていただきたい。他で成功している事例を参考にして、具体的に一つ一つ取り組んでいく必要があると思います。</p>	<p>施策の一つとして「にぎわいの創出」を図ってまいります。これは、按針メモリアルパークやオレンジビーチ、松川遊歩道などを含めた市街地エリアにおいて、大勢の人々が交流し地域がにぎわうための施策を進め、一年を通じ楽しく過ごすことのできる仕組みを構築していくものです。この施策を実現していくためには、地域の皆様の協力が不可欠です。今後は、市民や関係団体と連携を図りながら、市街地ににぎわいを取り戻すことで、本市の魅力を発信してまいります。</p>
14	<p>温泉を活用した施設について</p> <p>海岸付近に温泉を活用した施設を造り、誘客を図ってはどうか。</p>	<p>今後の海岸整備を進める中で、温泉を活用した施設についても検討してまいります。</p>
15	<p>伊東ならではのキャリア教育について</p> <p>幼児期のうちから伊東の特産品や文化について、身を持って味</p>	<p>現在、保育園や幼稚園の保育・教育時間の中で、地域の祭典への参加や季節の行事を大切に保育を実施していますが、今後は、さらに地域の方々との交流や世代間の交流を</p>

平成29年度 第1回タウンミーティング（湯川・松原） 意見及び市回答

	意見	市回答及び対応
	<p>わい覚えられるような教育ができないかと考えます。</p>	<p>進め、地域ぐるみで子育て支援や幼児教育が進められるよう研究してまいります。 小学校では、社会科で郷土（地域）学習用の資料等を用いて学習しております。また、中学校では、地域にある寺社や石碑等の学習や、学芸員による出前授業を行っている学校もあります。今後も児童・生徒が地元の歴史や文化を学ぶ機会を通して、郷土愛を大切に する心の育成に努めてまいります。</p>
16	<p>伊東公園について 伊東公園をもっと花いっぱいの公園にすれば、より良い観光資源になると思います。</p>	<p>ブーゲンビリアの植栽を公園内にも広げていくことを検討するなど、季節により様々な花が咲く公園として、観光資源としての付加価値を高めてまいります。</p>
17	<p>伊東駅からの避難経路について 伊東駅から伊東公園への避難経路に不安があります。伊東駅から歩道橋等で直接伊東公園へ行けると良いと思います。</p>	<p>伊東駅舎については、1938年の開業当時のまま残っていることから、歴史的な価値としての保存や景観を含め、「伊東らしい駅舎の姿」を市民や観光客の意見を取り入れながら、JRともよく協議を行う中で、検討していきたいと考えております。また、駅裏（伊東公園側）への出口については、駅裏をどのように整備するか、地権者をはじめ、タウンミーティングや未来ビジョン会議の意見を参考に、交通事業者や関係機関などと協議を行う中で、検討してまいりたいと考えております。</p>
18	<p>伊東駅の出口について 伊東駅の駅舎は伊東線開業時からの建物であり貴重なためそのまま活用しながら、反対側（山側）への出口を作っていただけないでしょうか。</p>	<p>ご提案の手法も含め、伊東市の効果的なPR方法について、様々な場面で検討してまいります。</p>
19	<p>伊東市章の活用について 「い」が10個並んだ伊東市の市章を活用し、10の伊東の良い点をつけるなどPRしてみたらどうでしょうか。</p>	<p>ご提案の手法も含め、伊東市の効果的なPR方法について、様々な場面で検討してまいります。</p>
20	<p>湯川区の複合会館の建設について 湯川区と伊東市との会談、窓口の設定をお願いしたい。</p>	<p>会館の建設場所や資金面で、湯川区と市との間で意見の隔たりが大きく、平成24年以来協議がなされていません。特に、建設場所については、現在地での建て替えを視野に入れているようですが、津波の危険があり、市としては認められないと回答しています。建設地等の面で両者が折り合える見込みがあれば、協議を再開することも考えられますが、現時点では難しいと考えております。</p>
21	<p>今後の都市計画について</p>	<p>今後のまちづくりは、人口の減少と高齢化を背景として、高齢者や子育て世代にとって</p>

平成29年度 第1回タウンミーティング（湯川・松原） 意見及び市回答

	意見	市回答及び対応
	<p>高齢化と人口減少が進む中、将来の伊東の財源を考えると、インフラ整備、維持管理については、なるべく市に負担がかからないようにご検討いただきたい。そのために市街化調整区域の区分を設けることも必要ではないかと考えます。</p>	<p>安心できる健康で快適な環境を実現することや、財政面において持続可能な都市経営をすることが課題となっています。</p> <p>こうした中、医療・福祉施設、商業施設や住居等がまとまって立地し、高齢者をはじめ住民が公共交通により生活利便施設にアクセスできるなど、都市全体の構造を見直す『コンパクトシティ・プラス・ネットワーク』の考えのもと立地適正化計画の制度が創設されたことから、本市としても今後、立地適正化計画を検討していきたいと考えているところであります。</p>